

ひめだ高松ニュース

No.1224

18.11.6

日本共産党 和歌山市会議員

知事選挙が始まります。

11月(なり)8日から知事選挙。投票日は25日です。夜にはストーブを点けたこと翌日でもありますが、ストーブを使うための部屋の片づけが面倒なので、そんな時にはフutonにもぐりこむことになっています。今号は日本共産党の市政アンケートの報告です。

税、保険料軽減を

日本共産党市政アンケート回答

くらしやすいまちづくりをすすめるために、今、和歌山市で力を入れてほしいことは…の設問に、要望の1〜10位は、
①税・保険料軽減、②高齢者福祉・介護施策の充実

③保健・医療サービスの充実、④生活道路、歩道の整備、⑤公共交通機関の整備、⑥防犯・交通安全の強化、⑦商店街の振興、⑧中心市街地の再開発・整備、⑨河川・水路の整備、浸水対策

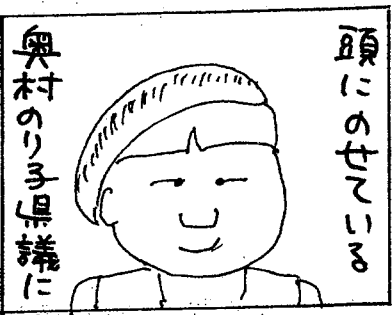
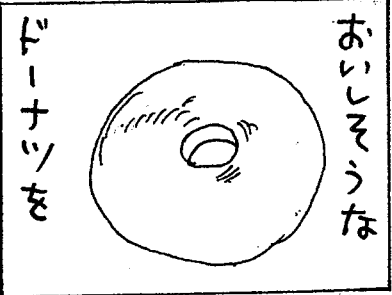
⑩日常生活での買い物の利便性…となっています。子育てが数あるについては、

①いじめ、暴力問題の根絶、②教員の負担軽減、教員の増員、③通学路の安全対策、④希薄する保育所への入所、⑤児童虐待対策、⑥保育所の充実、利用料の軽減、⑦中学校全生徒対象の学校給食、⑧トイレ、空調、教室の施設改善、⑨児童公園、子どもの遊び場づくり、⑩保育所・幼稚園利用料の無償化…となっています。

街頭演説会があります
11月14日(水)11時
高松・メジサ前

フッーの人々

(1007)



日本共産党 和歌山市議団 市政事務所 へ

11月2日(金)午後、日本共産党和歌山市議団市政事務所へ市政アンケートの報告と、市民要望に答える市政事務所へ。市民要望に答える市政事務所へ。市民要望に答える市政事務所へ。

今週のフッーの人々

(その170)

おいしいそうなおーナツ
私が生まれ育った徳島市で子どもの頃一番賑やかだったのは商店が連なる東新町でした。そこには店先で作ったーナツを売る喫茶店がありまして、輪っかになったタネが油の中に落とされるのが、油の中に落ちて流れる音が、甘い香りが通りに流れます。しばらくいて油の中をのびのび返ります。母親に手をひかれて歩いたあの頃の思い出です。おいしい、そんな思い出



ひめだ高宏

思い出です。奥村の子供達がのびのびとーナツの思い出を語りながら、お話を聞いていたのです。会議のあとで奥村さんに「おいしいそうなおーナツをかきわけているね」と言ったら「そうなんです。おいしいので買った」と返事でした。ナツか？奥村さんかババヤね。

- 介場 ②森林法での住民同意の規定、③メガソーラーの法的規制、④和泉山脈の環境保全対策、⑤森林整備関西電力の対応、⑥早期復興、⑦生活の支援策、⑧激甚災害指定、⑨豪雨災害対策、⑩水門の運用、⑪上水道事業、⑫カジノ誘致、⑬公共交通、⑭国民健康保険事業、⑮介護保険事業、⑯学童保育、⑰地域医療連携の項目。時間が足りなかつたのでした。

いんげん畑

松坂みち子

沖繩へ

20歳台の若者4名を含む19名で、2泊3日の沖縄連帯ツアーに行っていました。天候には恵まれませんでしたが、本島南部の戦



市議に代わる大門氏(中央)と市議・市議候補 28日、和歌山市

自分にゾクゾク!

10月31日(水)付けのしんぶん赤旗日刊紙に、日本共産党和歌山市女性後援会が28日に大門みきし参院議員を招き「女性のつどい」を開いた記事が写真入りで載りました。大門参院議員を真ん中に県議・市議候補が両手を上げています。写真です。左端のひめだに注目。先週の記事の通り、この日、私・ひめだは日帰りバスツアーでつどいは欠席。下角県議議長が「影武者」で登場、結構受けたとか。



松坂みち子 (県議予定候補)

地巡りでは激しい地上戦でまさに地獄だっただろうと想像し、最北端の辺戸岬からは与論島を眺めてこの海峡に沈んだ疎開船に思いを馳せ、移動の車の中で聞いた護郷隊の話では14歳の少年を志願させてゲリラ活動を行っていたことに改めて怒りをもち、平和祈念館で見た「戦争をするのが人な

ら、それを止めるのも人である」という言葉を強く胸に留めました。辺野古での盛り込みにも参加して交流し、「沖縄を返せ」を大合唱して連帯の思いを強めました。

潮流

深まる秋とともに、冷え込む朝晩に冬の足音が聞こえてきます。入梅(梅雨)黄ばむ。

彩る木々の間を歩きながら、わが身や人のありようについていふけるときも、きまぐれは文化の日。「自由と平和を愛し、文化をすすめる」とを旨としています。読書や芸術、スポーツや音楽。自分好みの文化に親しめるのも自由で平和があらばこそ。いまの憲法がそれを土台にしていることから、公布された11月3日が祝日となりました。▼今年の文化の日はせめぎ合いのなかで。どこまでも改憲に前のめりの勢力と、憲法の今日的な意義を説きためる人びと。それは社会の基盤をめぐる攻防でもあります。▼人の生き方がそれぞれなら、家族の形もそれぞれ。一つのライフスタイルを押し付けられたら、たまったもんじや

ない。あすわが(明日の自由を守る若手弁護士(会)の憲法カフェへようこそ第3弾)イマドキ家族のリアリティと未来(かもがわ出版)が、この日にあわせて発行されています。▼今回は憲法24条がテーマ。結婚や夫婦・家族のあり方について考えます。家庭のなかでの平等と個人の尊厳を争うと宣言した条項は明治からの封建的な家制度を一新。誰もが自分らしく生きられる権利をうたいます。▼改憲勢力は9条とともに、この24条を何とか変えようと乱暴に介入しようとしています。ふたたび戦争が起きる国にするためには支配や暴力を許さない存在はいままだ。国家や家庭に縛られない自由を保障した憲法は、個人が花開く日と深く結びついています。

しん 赤旗 日刊紙 3,497円/年 日曜版 823円/年